

人文学部卒業研究

インターネットラジオ誕生後における

題目 放送内容の変化

指導教授 尾鼻 崇

印

提出年月日 2018年 2月 27日

学籍番号 HI15053

氏名 前原 琴実

インターネットラジオ誕生後における放送内容の変化

HI15053 前原琴実

要旨

本研究では、「ラジオ離れ」への対策により、インターネットラジオが登場し、ラジオがききやすい環境へと変化してきたことについて分析を行った。インターネットラジオ登場後、聴取率はどのように変化してきたのかについて調査を行い、実際に「ラジオ離れ」は進行しているのかを確認した。更に、インターネットラジオと芸能人が登場するラジオにより、ラジオのきかれ方に変化が出ていると考え、どのように変化していったのか分析を行った。この事実を明らかにし、ラジオ業界は今後どう変化していくのか、回復はあり得るのか考察を行った。

本論の構成は、以下の通りである。第一章では、ラジオが本当にきかれなくなっているのかを明らかにするため、ラジオの歴史や「ラジオ離れ」が誕生した原因を記述した。更に、現在の聴取率の差を明らかにするため、ラジオが最もきかれていた年を、東山（2015）の調査から1957から58年の間であると結論づけた。第2章では、インターネットラジオについて分析を行った。タイムフリーやエリアフリーなど、便利な機能ができ、ききやすい環境に変化していることが分かった。第3章では、インターネットラジオが登場したことで、どのような影響が出たのか考察を行った。ラジオ局がインターネットラジオと繋がることで、触れやすい環境に変化した事が分かった。更に、若年層の聴取者の増加に注目し、ラジオに芸能人が登場することが増えているという仮説を立て、なぜそう変化してきたのか考察を行った。ラジオは以前より触れやすい環境になっていることから、聴取率は上がっていると考えたが、実際は減少をしているという事実が分かった。第4章では、第3章で立てた「芸能人ラジオ」が増加しているという仮説を立証するため、番組表から変化を明らかにしている。結果的に、「芸能人ラジオ」が増加していたため、仮説を立証する事ができた。更に、放送時間に変化が表れていること、放送局によって、放送方法に違いがあることも明らかとなった。終章では、本論のまとめを行った。更に、インターネットラジオの登場と、「芸能人ラジオ」の増加から、ラジオのきかれ方が変わってきていると考えられる。最後に、ラジオ業界の今後の展開については、今以上に変化をしていかなければいけないと考察をした。

キーワード

「ラジオ離れ」 インターネットラジオ 「radiko」 聴取率 「芸能人ラジオ」

目次

序章.....	1
本研究の目的と方法.....	1
第一章 ラジオとは.....	2
1-1. ラジオの誕生.....	2
1-2. ラジオの全盛期.....	2
1-3. テレビの誕生によるラジオの変化.....	3
1-4. 「ラジオ離れ」の誕生と進行.....	4
第2章 インターネット普及後のラジオ.....	4
2-1. インターネットを利用した配信の開始と背景.....	5
2-2. 主なインターネットラジオ.....	5
2-3. 「radiko」について.....	7
2-4. インターネットラジオ誕生による変化.....	8
第3章 「ラジオ離れ」への対策と効果.....	8
3-1. インターネットラジオ登場による効果.....	8
3-2. 「芸能人ラジオ」の増加.....	9
3-3. 聴取率から見る「ラジオ離れ」の現状.....	10
第4章 番組表から見る変化.....	11
4-1. 番組表の分析目的と方法.....	11
4-2. 「NHK ラジオ第一」の番組表から見る変化.....	13
4-3. 「TBS ラジオ」の番組表から見る変化.....	14
4-4. 「NHK ラジオ第一」と「TBS ラジオ」の番組表から見る変化.....	15
終章 結論.....	17
参考文献.....	18
参考 Web ページ.....	19
参考資料.....	20